

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和 5年 7月 2日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県佐賀市水ヶ江3-10-23
団 体 名 特定非営利活動法人日本レスキュー協会
代表者職・氏名 理事長 伊藤 裕成
電 話 番 号 0952-26-3988

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和4年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

-

令和4年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人日本レスキュー協会
- 2 事業実施期間 : 令和4年 4月 1日から令和5年 3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

佐賀県大町町の拠点「MORE WAN」において訓練施設の整備を図り、災害救助犬やセラピードッグの育成に着手し、災害時におけるそれらの派遣体制を整える。佐賀県、九州圏域の被災時に佐賀県から犬を派遣することが出来れば、素早く被災地に入ることが可能となり、行方不明者の発見可能性を高めることが出来る。また拠点は緊急時にペットとの同行避難が可能な一次避難所となる。将来的には平時には一般の方に向けて犬のしつけ教室やセラピードッグ育成教室を開くことを計画しており、近隣住民・佐賀県民を中心としたペットを含めたクオリティオブライフの向上に寄与することが出来る。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

佐賀県大町町の拠点「MORE WAN」において訓練施設の整備を図ることができた。佐賀県、九州圏域の被災時に佐賀県から犬を派遣するため、また緊急時にペットとの同行避難が可能な一次避難所を開設するための整備について取り組んだ。有事と平時におけるMORE WANの多面的な役割を担うための基盤づくりが一層進んだ。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

災害時のペット同行避難について官民協働で避難所開設するモデルケースとなり、全国へ一般化していくための啓発、発信に取り組むことができた。

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業 (GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載)

| 事業名 | 具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容 | ①実施日時 ②実施場所 | 事業費の 支出金額 [単位:円] | うち寄附金 活用額 [単位:円] |
|---|---|---------------------------------|------------------------|------------------------|
| ①災害救助犬事業 | ①佐賀県大町町にて災害救助犬を育成し、九州圏域の災害時に佐賀から派遣する仕組みを作る。その為には拠点に訓練設備の設置が必須 ②九州圏域の被災地、被災者 ③訓練設備の設置、整備の進行 | ①2022年4月～2023年3月 ②佐賀県大町町 | 90,750,000 | 61,890,766 |
| ②セラピードッグ事業 | ①佐賀県大町町にてセラピードッグ育成教室などを実施し、九州圏域の災害時に佐賀から派遣する仕組みを作る。すぐの要望があれば本部より派遣対応する。 ②大町町を中心とした近隣市町住民等 ③セラピードッグの啓発やふれあい等を実施 | ①2022年4月～2023年3月 ②佐賀県大町町 | 4,000,000 | 3,500,000 |
| ③動物福祉事業 | ①佐賀県大町町にて同行避難の訓練の実施や、ペットの指定避難場所の指示など行動指針の啓発活動。既存団体のサポート中心。 ②大町町民、近隣市町住民、県内の動物愛護団体 ③避難訓練の実施、動物イベントの開催で啓発活動 | ①2022年4月～2023年3月 ②佐賀県大町町、佐賀市 | 4,000,000 | 3,800,000 |
| (GCF) 【被災地に迅速な支援を！】災害救助犬を育成したい！ | ①九州圏域の被災地へ佐賀県から災害救助犬の派遣を行う体制作りを行う ②九州圏域の被災地、被災者 ③災害救助犬の育成、派遣のための基盤整備 | ①2022年8月～2023年3月3 ②佐賀県大町町 | 490,000 | 490,000 |
| (GCF) 災害に強い地域を増やし、動物も人も安心して暮らせる社会を目指したい！ | ①ペット同行避難所として動物と人の地域の安全を守ってだけでなく、この取り組みが一つのモデルケースとなり、佐賀県から全国へ広まっていくよう活動する ②佐賀県内外のペット飼養者、行政関係者等 ③災害支援拠点としての運用、平時の施設運営基盤整備、ペット防災普及・啓発活動等 | ①2023年1月～3月 ②佐賀県大町町 | 2,266,000 | 2,266,000 |
| | | | | |
| | | | | |
| 計 | | | 101,506,000 | 71,946,766 |

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

| 事業名 | 具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容 | ①実施日時 ②実施場所 (見込み) | 事業費の 支出見込み額 [単位：円] | うち寄附金 活用見込み額 [単位：円] |
|------------|--|---------------------------------|--------------------------|---------------------------|
| ①災害救助犬事業 | ①佐賀県大町町にて災害救助犬を育成し、九州圏域の災害時に佐賀から派遣する仕組みを作る。その為には拠点に訓練設備の設置が必須 ②九州圏域の被災地、被災者 ③訓練設備の設置、整備の進行 | ①2023年4月～2024年3月 ②佐賀県大町町 | 35,000,000 | 5,313,181 |
| ②セラピードッグ事業 | ①佐賀県大町町にてセラピードッグ育成教室などを実施し、九州圏域の災害時に佐賀から派遣する仕組みを作る。すぐの要望があれば本部より派遣対応する。 ②大町町を中心とした近隣市町住民等 ③セラピードッグの啓発やふれあい等を実施 | ①2023年4月～2024年3月 ②佐賀県大町町 | 3,000,000 | 1,000,000 |
| ③動物福祉事業 | ①佐賀県大町町にて同行避難の訓練の実施や、ペットの指定避難場所の指示など行動指針の啓発活動。既存団体のサポート中心。 ②大町町民、近隣市町住民、県内の動物愛護団体 ③避難訓練の実施、動物イベントの開催で啓発活動 | ①2023年4月～2024年3月 ②佐賀県大町町、佐賀市 | 3,000,000 | 1,000,000 |
| | | | | |
| | | | | |
| 計 | | | 41,000,000 | 7,313,181 |

(別記3) 寄附金活用額

| | | |
|-------------------------------------|--------------------------|-------------------|
| 【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B) | | 94,544,913 |
| (内訳) | 本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A | 40,686,801 |
| | 本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分 | 37,589,400 |
| | 前年度控除額(県事務経費)還付分 | 3,097,401 |
| | 前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B | 53,858,112 |

| | | |
|------------------------------------|-----------------------|-------------------|
| 【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b) | | 87,231,732 |
| (内訳) | 事業に活用した寄附金額 … a | 71,946,766 |
| | ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b | 15,284,966 |
| | 返礼品等の調達に係る費用 | 13,321,066 |
| | 返礼品等の送付に係る費用 | 0 |
| | 広報に係る費用 | 831,366 |
| | 事務に係る費用 | 1,132,534 |

| | | |
|-------------------------------------|--|------------------|
| 佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②) | | 7,313,181 |
|-------------------------------------|--|------------------|

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://www.japan-rescue.com/>